

個別取り組み検討シート① 委員意見一覧

シートNo.		1
施策1		ごみを出さないライフスタイルの普及（ごみの発生抑制）
取り組み		（1）ごみの減量化に向けた意識の向上
A	事業	①ごみの減量化に向けた意識の向上
B	取り組み内容	2R（リデュース、リユース）の推進
C	H29.4 方針	推進
D	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生組合ホームページ、衛生組合だより、町広報紙で啓発 ・夏休み親子教室（県と共催）、マイバッグ作成講習会による啓発【夏休み親子講座の参加人数（うち宮代町分）】 令和2年度《中止》 令和元年度5組12名（3組6名） 平成30年度8組21名（4組8名）
E	効果、課題・問題点	・リフューズ（ごみになるものを受け取らない、持ち込まない）の視点がクローズアップされてきているため、追加が必要ではないか。
F	R5.4 方針（案）	推進
G	見直し（案）	・2Rの他に、リフューズ（ごみになるものを受け取らない、持ち込まない）とリサイクル（再資源化）を加え「4R」とする。4Rの理解促進、優先順位などの啓発を行い、1人ひとりが実践できるようにしていく。

■ 4R（※）を町民の方に強く意識づけするためにはどのような方法があると思いますか。

例）町の封筒に4Rについて入れる、お店にポスターを貼る

※4R・・・リフューズ（ごみになるものを持ち込まない）リデュース（購入と使用を減らす）、リユース（不要なものは必要とする人へ、物の寿命を最大限に生かす）、リサイクル（再利用できないものは、資源として生かす）

委員からの意見

- 容器を再利用
- 簡易包装や包装を希望しない旨の声かけ
また、そのように消費者が言いやすい企業やお店側の工夫
- 企業努力で外箱や容器の簡素化が進化
- 洗剤等を2回目以降からは詰替え容器で購入
- 今後は4Rで推進
- 4Rを意識づける方法として町の封筒印刷の案があったが、その他に企業の社報や箸袋に印刷して啓発

シートNo.		2
施策1		ごみを出さないライフスタイルの普及（ごみの発生抑制）
取り組み		（1）ごみの減量化に向けた意識の向上
A	事業	①ごみの減量化に向けた意識の向上
B	取り組み内容	販売店との協働（店頭回収等）による取り組みを普及、拡大
C	H29.4 方針	推進
D	進捗状況	・衛生組合ホームページにおいて、資源物の店頭回収実施店舗の紹介、リターナブルビン回収の啓発、小型家電リサイクル、家庭用純正カートリッジ回収について紹介
E	効果、課題・問題点	・店頭回収の拡大にあっては、従業員の業務増（回収作業）、指定品以外の混入対策や、回収後の処理経路の確保が課題である。 ・上記の理由から、衛生組合での周知を希望しない店頭回収実施店舗がある。
F	R5.4 方針（案）	推進
G	見直し（案）	・資源回収量の増加、リサイクルの拡大のため、民間の資源回収・リサイクル事業（民間サービス）を積極的に活用する。そして、民間サービスの活用を拡大し、継続的に利用していくため、消費者、事業者それぞれがメリットを得られる方法を検討し実施する。 ・施策2「資源の分別徹底」へ移動

■店頭回収（※）を利用しやすくし、消費者、事業者それぞれがメリットを受けながら、活用を広げていくためには、どうすればよいと思いますか。

例）店頭回収を利用するメリットをPRする

※店頭回収・・・様々な種類の資源類の回収箱をスーパー、小売市場、商店などの店頭において、消費者が空の容器・包装を持ち込んでそれに入れることによって、分別回収を行うこと。回収時に同じ資源類ごとに分別されるため、効率的で品質の高いリサイクルにつながる。

委員からの意見

- 店頭回収は行っていると従業員、お店に負担が生じているように思う
独自のプラットホームを設けられたら良い
- 循環バス等を活用して回収する仕組み